

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 ひたちなか市立大島中学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ・Ⅴ
2 実施対象者 (学年・人数)	1学年 5クラス 計180名, 保護者2名 2学年 5クラス 計172名, 保護者2名 3学年 5クラス 計162名, 保護者2名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 (車いすバスケットボール体験会)
4 目標 (ねらい)	○ いきいき茨城ゆめ大会の開会式に参加するにあたって, 障害者スポーツに対する関心を高め, さまざまなスポーツを楽しむ心を醸成する。 ○ 障害者スポーツの指導者や選手による講演や, 障害者スポーツの体験活動から, 共生社会について考えを深める。 ○ 福祉学習の一環として, 互いの違いを認め, 多様性を認め合おうとする豊かな心情を育てる。
5 取組内容	【事前学習】 ※主に1学年における活動 6月 オリエンテーション「福祉ってなんだろう」 夏休み 調べ学習「アダプテッドスポーツについて知ろう」 9月 学級での活動「アダプテッドスポーツについて調べたことを伝え合おう」  【体験当日】 車いすバスケットボール体験会 ※1学年につき2時間実施 (全学年) 全体会: オリエンテーション 前半: Aグループ 車いすバスケットボール体験 (40分) ①車イスリレー, ②車イスバスケットシュート練習 ③代表者による試合 Bグループ 財満いずみ選手による講演会 ①講演, ②質疑応答  後半: Aグループ 財満いずみ選手による講演会 (40分) ①講演, ②質疑応答 Bグループ 車いすバスケットボール体験 ①車イスリレー, ②車イスバスケットシュート練習 ③代表者による試合

全体会：まとめ、記念撮影

【活動の様子】



【事後学習】 ※主に1学年における活動

体験の感想を書く

9月 学級での活動「お年寄りの生活について知ろう」

9月 高齢者疑似体験

10月 介護体験学習

10月 いきいき茨城ゆめ大会開会式参加

※1・2学年生徒（中止）

11月 まとめ

6 主な成果

○ 障害者スポーツに対する関心を高め、障害者スポーツを含むさまざまなスポーツを楽しむ心の醸成につながった。また、互いの違いを認め合い共に生きようとする豊かな心情の育成にもつながっている。

【生徒の感想（一部抜粋）】

- 普段のバスケと同じくらいおもしろかったです。障害のある人もない人も平等に同じスポーツを楽しむことが素敵だと思いました。
- 体験会、講演会を通して以前よりパラリンピックに興味が高まりました。来年の東京パラリンピックがとても楽しみです。
- 今回の体験で、自分が思っていたよりも車いすに乗ったとき

	<p>の目線が低いことに驚きました。相手の目線に立ってみると相手の気持ちが少しわかる気がしたので、これからはもっと相手の目線に立って物事を考えて生活したいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 車いすバスケットを体験して、大変さと車いすならではの楽しさを実感できました。これから困っているような人がいるときにすぐに声をかけられる、助けてあげられるような人になりたいと思いました。</li> <li>• ガヤさんの義足は一見わからないくらい自然で、だからこそ困っていても気づかれないこともあるのかなと思いました。イズさんのお話を聴いて、もっと周りの人をよく見てスマートでさりげない気遣いをしたいと思いました。</li> <li>• 体験会、講演会で、シッティングスポーツに興味をもちました。この経験を生かし、いろいろな人にシッティングスポーツの良さを伝えていきたいです。</li> <li>• 体験をしてみて意外と難しくて驚いたけど楽しかったし、このスポーツがもっと世界中に広がっていったらいいなと思いました。私の心をゆさぶられる2時間になりました。</li> <li>• 2020年のパラリンピックやオリンピックへの楽しさが増えました。気持ちを曲げずに何かすれば良いことがあるという大切さが伝わりました。これからパラリンピックについていろいろ勉強してみたいです。</li> <li>• 車いすバスケットなどのシッティングスポーツは、障害をもつ方々が希望をもて、私たちも一緒に楽しむことができると知りました。これからは、シッティングスポーツに積極的に関わっていきたいです。</li> <li>• 今後、車いすの方だけでなく同じように困っている人を助けてあげたいという気持ちになりました。誰でもできるスポーツを、もっといろいろな人に知ってほしいです。</li> <li>• 体が不自由な人でもできるスポーツがあることはいいなと思いました。今回の体験は、障害者スポーツに興味をもつ良い経験になりました。</li> <li>• パラリンピックやゆめ大会などの車いすバスケットボールを現地やテレビで観たいと思いました。また、車いすの方がいたら声をかけてサポートしてあげようと思いました。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いきいき茨城ゆめ大会の実施及び開会式参加と関連づけて実施した。</li> <li>○ 1学年の総合的な学習の時間における福祉学習の計画の中に位置づけた。</li> <li>○ シッティングスポーツ協会の協力により、多くの車イスを用意でき、選手の講演のみでなく参加生徒全員が車イスバスケットボールの体験ができた。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業を行うにあたり、ねらいに応じた講師を探すことや依頼することが難しい場合がある。</li> <li>○ 他の教育活動との兼ね合いや関連の中で事業の位置づけを行わないと、各教科の授業時数を確保する上で影響が出る可能性がある。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他の教育活動との兼ね合いや関連の中で事業の適切な位置づけができれば、実施していきたい。</li> </ul>